

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第3部門第3区分
【発行日】平成16年11月25日(2004.11.25)

【公表番号】特表2000-506917(P2000-506917A)

【公表日】平成12年6月6日(2000.6.6)

【出願番号】特願平9-531983

【国際特許分類第7版】

C 1 1 D 3/386

C 1 1 D 3/04

C 1 1 D 3/10

C 1 1 D 3/20

// C 1 2 N 9/42

(C 1 2 N 9/42

C 1 2 R 1:885)

(C 1 2 N 9/42

C 1 2 R 1:685)

【F I】

C 1 1 D 3/386

C 1 1 D 3/04

C 1 1 D 3/10

C 1 1 D 3/20

C 1 2 N 9/42

C 1 2 N 9/42

C 1 2 R 1:885

C 1 2 N 9/42

C 1 2 R 1:685

【手続補正書】

【提出日】平成16年2月18日(2004.2.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成16年2月 18日

特許庁長官 今 井 康 夫 殿

1. 事件の表示

平成9年特許願第531983号

2. 補正をする者

名称 ケイ ケミカル カンパニー

3. 代 理 人

住所 〒105-8423 東京都港区虎ノ門三丁目5番1号 虎ノ門37森ビル

青和特許法律事務所 電話 03-5470-1900

氏名 弁理士(7751)石 田 敬



4. 補正対象書類名

請求の範囲

5. 補正対象項目名

請求の範囲

6. 補正の内容

請求の範囲を別紙の通りに補正します。

7. 添付書類の目録

請求の範囲

1通



方 式 査 査



請求の範囲

1. (a) 約 0.015～約20重量%の、 β -グルコシド結合に対して特異的な加水分解活性を有する酸セルラーゼ酵素；
 - (b) 約 1～約70重量%の水溶性炭酸塩；
 - (c) 約 1～約70重量%の、水性媒体中で炭酸塩と反応して水性媒体中に溶解する二酸化炭素を形成する水溶性酸；
 - (d) 約 0.1～約10重量%の界面活性剤；および
 - (e) 約0.05～約 5 重量%の増粘剤；を含んでなる酵素洗剤排水クリーナー。

2. (a) 前記酸セルラーゼ酵素が約0.05～約15重量%の量で存在し；
 - (b) 前記水溶性炭酸塩が約10～約50重量%の量で存在し；
 - (c) 前記水溶性酸が約10～約50重量%の量で存在し；
 - (d) 前記界面活性剤が約 0.5～約 8 重量%の量で存在し；そして
 - (e) 前記増粘剤が約 0.1～約 4 重量%の量で存在する；請求項 1 に記載の酵素洗剤排水クリーナー。

3. (a) 前記酸セルラーゼ酵素が約 0.5～約10重量%の量で存在し；
 - (b) 前記水溶性炭酸塩が約13～約48重量%の量で存在し；
 - (c) 前記水溶性酸が約13～約48重量%の量で存在し；
 - (d) 前記界面活性剤が約 1～約 6 重量%の量で存在し；そして
 - (e) 前記増粘剤が約 0.5～約 3 重量%の量で存在する；請求項 2 に記載の酵素洗剤排水クリーナー。

4. (a) 約 2～約 7 重量%の、 β -グルコシド結合に対して特異的な加水分解活性を有する酸セルラーゼ酵素；
 - (b) 約10～約50重量%の、スルファミン酸およびクエン酸から成る群より選択される酸；
 - (c) 約30～約50重量%の重炭酸ナトリウム；
 - (d) 約 1～約10重量%の炭酸ナトリウム；
 - (e) 約 2～約10重量%の粉末状ドデシルベンゼンスルホン酸ナトリウム界面活性剤；および

(f) 約1～約5重量%の架橋したポリアクリル酸型増粘剤；
を含んでなる酵素洗剤排水クリーナー。